

## ⇒ 1 面からの続き

歳出では、生活保護費の増などにより、扶助費全体で 5.8%、3 億 7,820 万円の増額を見込んでいます。人件費は、職員人件費が 0.2%の増となっていますが、定年退職者の増加による退職手当特別負担金の増の影響を除くと、4,524 万円の減額です。

普通建設事業費では、平成 24 年度事業の牛浜駅自由通路整備事業、すみれ保育園建設費補助金、保健センター及びわかぎり会館の改良事業など、大規模な事業が終了したことから、44.9%、10 億 5,007 万 7 千円の減額となっています。

### 〈平成 25 年度福生市総合計画（第 4 期）の主要事業〉

#### ①「希望に満ちた明るいひとづくり」の分野

児童・生徒の安全確保とともに、災害時の避難所となっている小・中学校の体育館について、落下等の恐れがある天井、照明器具等の点検調査を行う「小・中学校体育館非構造部材調査委託」、災害発生時に、教職員、児童・生徒等が学校内で待機することを想定し、食糧、水、毛布の備蓄を行う「小・中学校災害時備蓄品整備事業」を実施します。

小・中学校の学校図書館の環境整備と読書活動の支援や、授業支援、調べ学習支援を強化するため、専任の司書を配置する「学校図書館司書配置事業」を実施するとともに、学校図書館と市立図書館の連携を図るため「学校図書館連携システム」を導入します。

老朽化が進む「わかたけ会館」について、施設改良の実施設計を行い、図書室を増築し利用者の利便性の向上を図ります。

そして、いよいよ、国民体育大会が多摩地区を中心に開催されます。本市では成年女子ソフトボールの競技



庁舎を使った国体PR

が市内 2 か所の競技場で行われますが、スポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会福生市実行委員会に対し、効率的、効果的な大会運営ができるよう継続して補助金を交付します。リハーサル大会で見た福生市の頑張りを本大会へつなぐ、大いに市を全国に PR し、ぜひ盛大な大会にしたいと思えます。そのために、オール福生で力をあわせて頑張らしましょう。

#### ②「だれにもやさしい安全なまちづくり」の分野

「都市計画道路 3・4・7 号線（富士見通り）整備事業」として、福生駅東口交差点から東福生交差点までの拡幅整備等の事業認可に向け、測量等の調査を実施します。

また、市道幹線Ⅱの 10 号線、及び市道第 1006 号線の改良工事を行い、安心して通行できる道路の整備をします。

そして、災害に強いまちづくりの必要性から、「福生市地域防災計画修正及び福生市事業継続計画（震災編）」を策定するとともに、防災マップ・洪水等ハザードマップを作成します。

そのほか、消防団の入団促進、団員確保に努める「消防団員入団促進事業」、災害情報を確実に伝達するため、防災行政無線難聴世帯のうち、

希望者に対し戸別受信機を貸与する「防災行政無線戸別受信機貸与事業」などを実施し、防災まちづくりを推進します。

#### ③「潤いのある豊かな暮らしづくり」の分野

「玉川上水緑地日光橋公園等整備事業」として、日光橋公園からみずくらいど公園への遊歩道の土留めの老朽化に伴う改修工事の実施設計を行います。

下水道事業の充実を図るため、「管渠新設改良等事業」として、都市計画下水道事業における事業認可公共下水道の整備、及び福生市下水道総合計画における道路冠水箇所を計画的に整備します。また、福東地区の立川第二排水区の雨水幹線整備については、平成 26 年度に予定していた第 3 工区の工事を前倒して実施します。

そのほか「福東緑地整備事業」、「住宅マスタープラン策定支援委託」、「第三市営住宅エレベーター設置等工事」などを継続して実施するとともに、地球環境保全の取り組みとして「地球温暖化対策設備普及事業」を、助成対象機器の見直しを行い、引き続き実施します。

#### ④「安心に満ちたまちづくり」の分野

さらなる子育て支援の充実を図るため、生後 3 か月の乳児健康診査の際、絵本の読み聞かせなどを行い、絵本を介した親子のコミュニケーションの大切さを伝えながら絵本を贈呈する「赤ちゃんはじめての絵本事業」を出生記念事業として実施します。なお、この事業の実施に伴い、「出生記念樹配布事業」は廃止します。

このほか、田園児童館、熊川児童館に、授乳ができるスペースを確保し、乳幼児を持つ親が安心して外出を楽しめる環境の整備を図る「赤ちゃん・ふらっと事業」、行政と市民が連携した育児の相互援助活動を、子ども家庭支援センター内に「ファミリー・サポート・センター」を設置して実施します。

また、保育サービスの一層の充実を図るため、一部の園において、延長保育時間を 2 時間に延長し実施します。さらに、「一時預かり委託事業」、「休日保育委託事業」、「病後児保育運営委託」について、実施する園を増やしてサービスの充実を図ります。このうち、すみれ保育園では、2 時間の延長保育事業のほか、専用スペースを確保した一時預かり事業、年末保育、病後児保育を実施します。

なお、病後児保育については、対象を小学校 3 年生までの学童クラブに通所する児童に拡大して実施します。そして、保育の定員については、すみれ保育園、牛浜こども園において増員となりますので、これにより待機児の解消が図れるものと思えます。

高齢者、介護福祉の施策では、介護保険要介護認定の要支援、要介護に該当しない 65 歳以上の高齢者に対する「認知症予防事業」を新たに実施し、保健医療の施策では、「胃がん・肺がん検診」をレベルアップして実施します。

#### ⑤「活力とにぎわいのあるまちづくり」の分野

「まちづくり振興推進事業委託」を継続し、地域の活性化に向けた合意形成の取り組みの更なる推進を図るため、転入転出者に対するアンケートの分析、「わがまちの宝さがし」の実施、コミュニティビジネスセミナーの開催等、魅力あるま

ちづくりに関する事業を実施します。

また、「まちなかおもてなし事業」として、観光案内所「くるみる ふっさ」における観光事業、買い物代行業業、及び次世代モビリティ活用モデル事業について、実証実験を継続して実施するほか、「ロケ支援等事業」として、ロケ撮影を市内に誘致するとともに、福生ドッグの地域ブランドとしての価値をさらに向上させ、新たな誘客の拡大と市内事業者の事業機会の創出を図ります。

今後も、活力あるまちづくりに向けた取り組みを進め、市の魅力を発掘、創出し、広く情報発信をするシティセールスを積極的に推進します。

#### ⑥「ともに助け合うまちづくり」の分野

市民が互いに助け合う自治力の強化、市民活動の促進、人と地域のつながりを強める交流の強化、この 3 点を指針に据え、地域コミュニティ活動の支援と環境づくりなどの施策を展開し、まちづくり市民活動の促進を進め、町会等の活動への補助を行うとともに、活動拠点の施設整備などに取り組みます。「町会活動補助金」、「町会会館等運営費補助金」、「町会等会館建設費補助金」など、引き続き町会・自治会活動への支援を行うとともに、さくら会館においては、空調設備の年間保守点検等を専門業者に委託し、空調設備の適正な維持管理を図り、老朽化している外壁について改良工事を実施して、活動拠点の整備をします。

#### ⑦「市民と行政がともに進めるまちづくり」の分野

計画的な行政運営を推進するため、平成 27 年度から 31 年度までを計画期間とする「福生市総合計画（第 4 期）修正後期基本計画の策定」を 2 か年の計画で実施します。

また、広報ふっさの紙面を現行の 2 色から 4 色



動画配信ページ「福生市メディアラボ」

に変更し、より見やすく、わかりやすい紙面として情報提供を行います。さらに、市が持つさまざまな魅力を効果的に発信するため、市職員が撮影した動画の編集委託を行い、ホームページで配信します。

そして、「まちづくり総合活性化研究委託」を実施し、市の将来人口及び人口構成がどのように予測されるか、また、施策による人口変化がどのように予測されるか、まちを構成するさまざまな要素から分析を行い、今後の人口問題や定住化対策の政策判断の参考データを収集します。

#### 結び

今後も市政の運営に当たり、市民の暮らしを第一に考え、より良いまちづくりを進めます。そのためには、今まで以上にスピード感を持って取り組みます。

市民の皆さんには、変わらぬお力添えをお願いするとともに、福生に住んでよかった、住み続けたいと思えるようなまちづくりに、全力で取り組むことを誓います。